

第3章 人物

第1節 名誉市民

「名誉市民」は、本市の市勢の発展または社会文化の交流に著しい功績があつた者に対して「登別市名誉市民」の称号を贈与して、その功績と榮譽を長くたたえることを目的とした制度である。称号の贈与にあつては、市長が推薦し、市議会の同意を得て決定される。

本市では、昭和52（1977）年3月に「登別市名誉市民条例」を制定し、以来3名に称号を贈与している。

第1号 志賀裕（昭和58年6月1日）

昭和12年5月に幌別村議会議員に当選して以来、11期46年にわたつて、市（町・村）議会議員を務めた。その間、村議会議長、町議会議長を務めて町制施行の要件整備に尽力されたほか、各常任委員会委員長や各特別委員会委員長を務め、市民の経済の安定に努めて、本市発展の基礎を築いた。

また、戦前・戦後を通じて漁業の発展に尽くし、登別漁業協同組合長として、数々の漁業振興施策や漁業者の生活向上施策を行つて、漁業基盤の安定にも貢献した。

第2号 高田忠雄（昭和62年7月25日）

昭和26年に幌別町助役に選任されて以来、16年間にわたり町長の補佐役として職責を全うした。昭和42年に登別町長に当選し、2期8年にわたつて町長及び市長として本市行政の推進役を果たした。この間、登別町民憲章を制定したほか、市制施行に向けて尽力して、本市の発展に貢献した。

昭和50年には北海道議会議員に当選し、3期12年間、本市のみならず北海道の発展にも尽力した。

第3号 室久吉（昭和62年7月25日）

昭和22年5月に幌別村議会議員に当選以来、10期40年にわたり議会議員を務め、その間には議長、各常任委員会委員長及び特別委員会委員長など数多くの要職を歴任した。

戦後の混乱期から昭和26年4月の町制施行に尽力し、昭和45年8月の市制施行にも尽力。本市の山積する重要課題の解決に参画し、本市発展の基礎を作り上げた。

昭和43年4月、登別町体育協会会長及び日胆陸上競技協会副会長に就任し、各種体育施設の整備に多大な貢献をするなど、本市のみならず胆振、日高地区の体育振興にも大きな貢献をした。

第2節 表彰者

功労者表彰

「功労者表彰」は、本市の市勢の進行発展に寄与した者の功労をたたえ、市民の総意による感謝の反映として表彰し、市民の愛市の観念を助長させることを目的とした表彰制度である。

本市では、昭和32（1957）年10月に「登別町功労者表彰条例」を制定して以来、283名に対して功労者表彰を行った。

功労者表彰受賞者については、資料編を参照いただきたい。

市表彰

「市表彰」は、本市の自治、社会、産業、教育文化や体育等の振興発展に顕著な功績のあつた者や、市民の模範となる行動などを行った者に対して表彰する制度である。昭和50年10月に「登別市表彰規則」を制定以来、1千672名に対して市表彰を行った。

市表彰受賞者については、資料編を参照いただきたい。

参考文献

- ・登別市『登別市名誉市民条例』（昭和52年条例第4号）
- ・登別市『登別市功労者表彰条例』（昭和32年条例第21号）
- ・登別市『登別市表彰規則』（昭和50年規則第22号）
- ・登別市『広報のぼりべつ』各号